

令和6年第2回定例会（6月議会）の概要



中津市議会議員 大塚正俊



令和6年第2回定例市議会（6月議会）は、5月29日から6月26日の29日間開催されました。令和6年度一般会計補正予算等の予算議案5件、条例議案7件、その他議案4件、報告案件16件、人事案件6件、決議1件、意見書6件の計45件が上程され、意見書1件を除く議案等を原案どおり可決しました。

令和6年6月議会一般質問の概要

■私は、一般質問で以下の項目について執行部の考え方を質しました。

1. 新学校給食共同調理場建設の是非について
 - ①1つに統合する理由は
 - ②市の財政は大丈夫か
 - ③廃止される共同調理場と跡地の処分と補助金、起債の返還
 - ④建設予定地は適地か
2. (都)中津駅角木線の一部変更はすべきではない
 - ①未事業化区間を廃止する理由は、
 - ②現行の都市計画における本路線の位置づけは、
 - ③廃止に対する地域住民の声は、
 - ④未事業化区間の存続と早期着工に向けて
3. ランドセルじゃないとだめですか
 - ①ランドセルは指定しているのか、推奨しているのか
 - ②入学説明会資料における「ランドセル」の記載の意図は、
 - ③高額なランドセル以外のものの普及を



【一般質問議事録抜粋】



令和6年6月定例議会で決まったこと。【抜粋】

1. 令和6年度一般会計補正予算(第1・2号)

補正額 6億2,929万円(補正後予算額465億6,546万円)

《新規・拡充事業（抜粋）》



□高齢者新型コロナ予防接種事業

； 1億7,034万円（内国庫支出金；1億597万円）

- ・ 令和6年10月から65歳以上の高齢者などを対象にした新型コロナウイルスワクチンの定期接種を開始する。
 - ・ 対象者；65歳以上の方、60～64歳の方で心臓、腎臓または呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方など25,000人
 - ・ 9月、10月に市報やチラシにて市民に周知
 - ・ インフルエンザ予防接種との同時接種が可能
 - ・ 接種する方の自己負担額；2,000円（生活保護受給者は自己負担なし）
- ※国の示した7,000円の自己負担のうち、市が5,000円を負担する。

□ トンネル長寿命化修繕事業

；1,900万円（内国庫支出金；1,045万円）

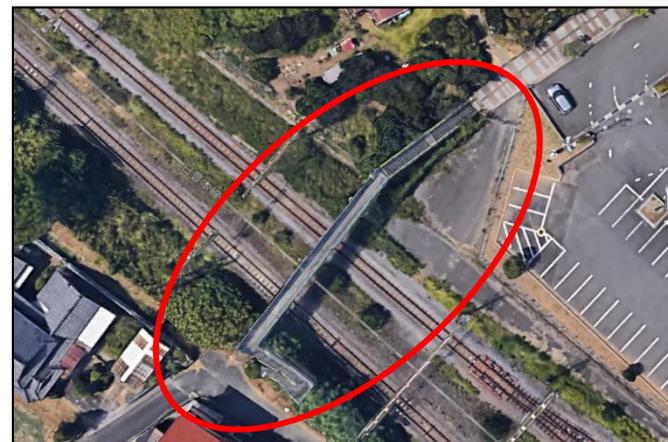
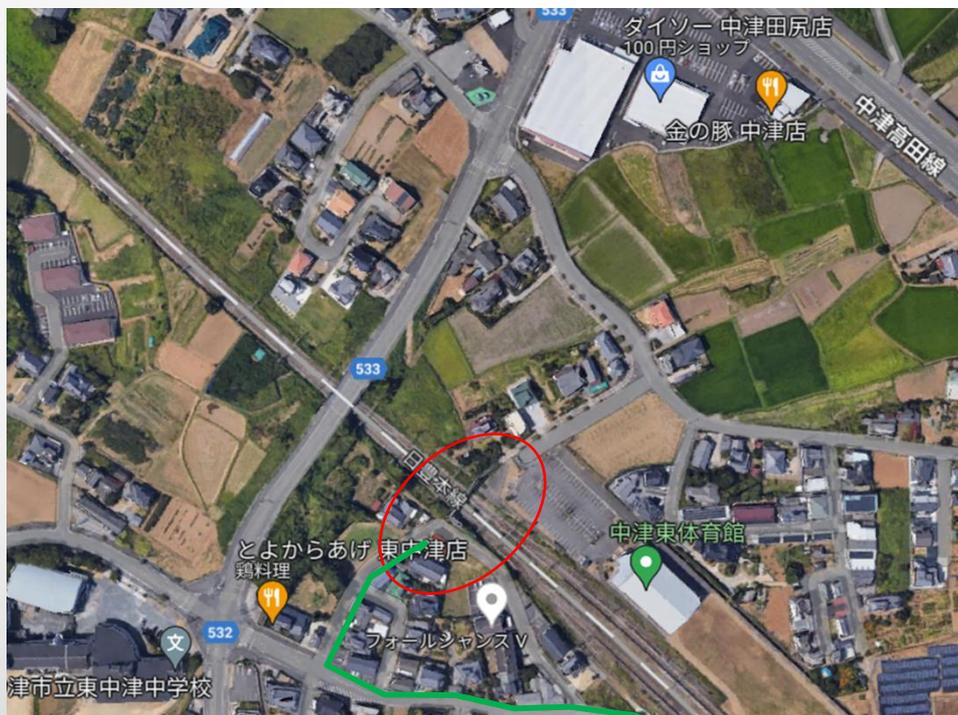
- カブシノトンネル補修工事（本耶馬溪地区：市道曾木多志田線）
- 落石防止のためモルタル吹き付け工事を実施



□横断歩道橋長寿命化修繕事業

；200万円（内国庫支出金；110万円）

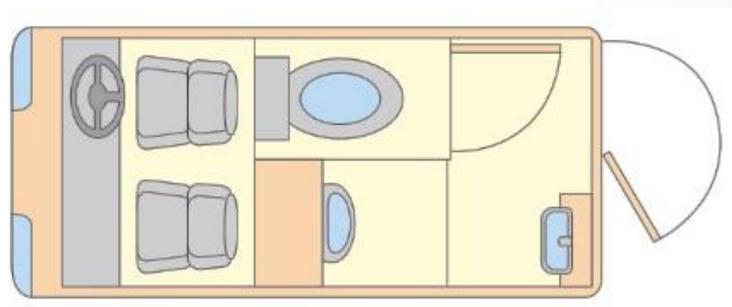
- ・横断歩道橋（是則跨線橋）撤去のため、迂回路のうち歩道のない箇所にグリーンベルトを整備



グリーンベルト設置工事

□防災拠点整備事業；380万円（B&G支援金；380万円）

- ・公益財団法人B&G財団の新たに拡充した助成事業を活用し、本年度に整備する防災資機材を追加・変更する。
- ・追加；トイレカー（1台）、軽トラに洋式トイレ2基搭載 600万円
- ・変更；防災ボート（2台）及び発電機（5基）の機種見直し △225万円
- ・耶馬溪ダム公園に配備
- ・補正後の予算額；2,880万円（B&G支援金；2,880万円）



小便器を洋式トイレに変更、入り口を2か所、踏み段、手すりを設置する。

□会計年度任用職員勤勉手当；3,975万円

- 地方自治法の改正に伴い、新たに会計年度任用職員へ勤勉手当を支給する。
- 支給率；年間0.5月分（期末手当を含む年間賞与；2.45月⇒2.95月分）
- 支給対象人数；590人

□定額減税調整給付金給付事業

；4億円（内国庫支出金；4億円）

- 所得税・住民税の定額減税の実施にあたり、減税しきれない納税義務者に対して調整給付を行う。
- 当初予算額：対象者（20,000人）×平均給付額（2万円）＝4億円
※令和5年11月に国から示された算定式で積算
- 補正後予算額：対象者（16,000人）×平均給付額（5万円）＝8億円
※対象者は確定申告後の課税情報、給付平均額は課税情報等をもとに積算

2. 条例の改正(抜粋)

□中津市公民館条例の一部改正

- ・中津市耶馬溪公民館（サニーホール）の建て替えに伴い、その名称及び位置並びに適用する使用料金表を変更するための条例改正
- ・新名称；耶馬溪コミュニティーセンター
- ・使用料金；他の公民館等と同額
- ・令和6年10月よりオープン予定



□中津市病院事業及び診療所事業の設置等に関する条例の一部改正

- ・肝臓内科、臨床腫瘍科及び救急科の3診療科を新設し、救急受入れ及びがん診療の体制を強化し、地域医療に貢献するための改正（7月1日より施行）

3. 財産の取得

□豪雨時の浸水対策として、可搬式排水ポンプ・電源ユニットの取得について議決を求めるもの

- 可搬式排水ポンプ、電源ユニット（15 t /分）2台
- 取得価格；84,917,800円 ・納期は8月30日まで
- 運搬用ユニック付きトラック1台は別途購入
- 本耶馬溪支所に配備予定
- 設置場所として昨年7月豪雨で浸水した角木、三ノ丁、青、平田地区などを想定



4. 新たに生じた土地の確認及び字の区域の変更

- 小祝漁港整備事業に伴う護岸、道路、厚生施設、加工施設、浄化施設用地の造成により、本市の区域内に新たに土地が生じた事実を確認するとともに、当該土地の隣接地の字に編入する。



新たに生じた土地	編入する字
中津市字小祝字寺山525番の273及び小祝新町108番の地先の公有水面埋立地 45,897.07㎡	字小祝

5. 人事案件(抜粋)

□教育委員会委員 (任期;R6.6.24~ R10.6.23)

菊池 徹 さん (満51歳) 諸町在住



6. 意見書

【採択】

- ゆたかな学びの実現と教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書
- 地方財政の充実・強化に関する意見書
- 被災者生活再建支援制度の拡充を求める意見書
- 価格転嫁対策の円滑な実施と実効性確保を求める意見書
- 2024年度大分県最低賃金の改正等に関する意見書

【不採択】

- 健康保険証の存続を求める意見書

被災者の生活再建支援制度	住宅の被害程度	支援金額 (最大)
	■ 全壊 (損害割合50%以上)	300万円
	■ 解体 ■ 長期避難	
	■ 大規模半壊 (損害割合40%台)	
■ 中規模半壊 (損害割合30%台)	250万円	
	100万円	

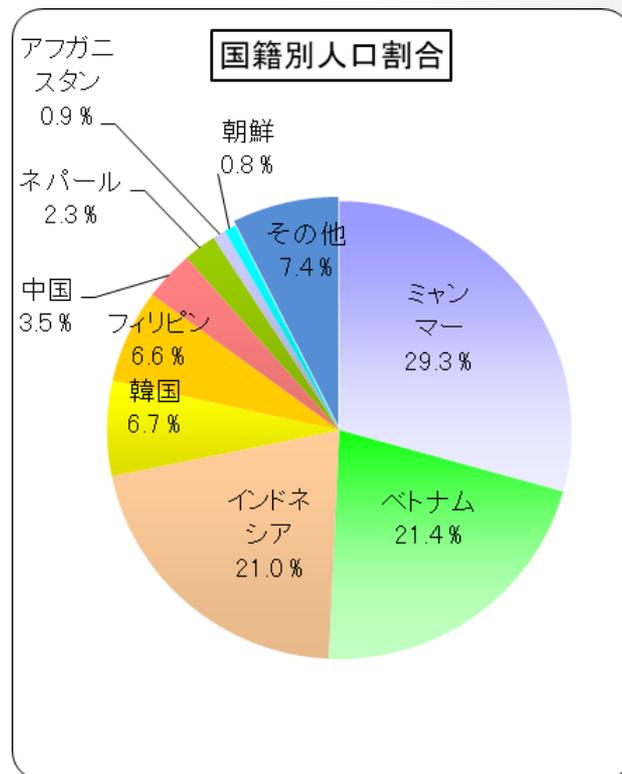
7. 決議 【採択】

・外国人共生社会の実現に向けた取組みを求める決議

中津市における外国人市民の人口は、令和6年3月31日時点で2,448人となっており、コロナ禍当初である令和2年3月31日時点の1,642人から4年間で806人、約50%の増となっている。

将来、中津市の人口が減少していくという推計の中で、外国人市民の労働力はあらゆる産業において必須であり、今後も外国人市民は中津市にとって非常に重要な存在であり続けると推測される。

そこで、「外国人共生のための組織（係）を中津市役所の組織内に設け、組織横断的に外国人共生のための施策を立案し、行動すること。」を求める。



7. 自由討議

(1) 多文化共生社会の今後のありかたについて

(補足説明者：奥村議員)

- ① 地域における問題点
- ② 行政のあるべき姿
- ③ 今後の課題解決に向けて



【私の提言】

外国人市民が増加している中、日本語学校を中津情報プラザ(旧コンピューターカレッジ)に産学官で設立してはどうか。日本に在住する外国人の母国語や日本語を学べる機会を増やし、まずは言葉のバリアの解消から始めるべきではないか。お互いにコミュニケーションがとれるようになれば、地域での交流もスムーズにいくのではないのでしょうか。

(2) 市民が求める市営プールとは (補足説明者：千木良議員)

- ① 市営のプールは必要なのか
- ② 市民が求める市営のプールとは
- ③ 他自治体のプールとの連携・利活用の可能性は、建替えか廃止か



【私の提言】

令和3年度スポーツ庁調査によれば、全国的には過去25年間で40%の公立プールが廃止されている。(全国3914ヶ所) 建設から50年以上が経過し、R5年度の年間利用者が1892人、500万円の赤字となっている中津市民プールについては、早急に廃止をすべき。跡地には、観光浮揚につながるホテル等を誘致して利活用を図る。現行の利用者のために、民間のプール利用に対する補助や耶馬溪B&Gプール(写真)・宇佐市民プール・豊前市民プールまでのシャトルバスの運行なども併せて検討することも必要と訴えました。

“一万円札の肖像は代わっても
福澤先生は不滅です。”

7月3日、1984年11月1日の発行以来、40年の長きにわたり一万円札の顔であり続けた福澤諭吉先生の肖像が、渋沢栄一翁に交代します。

紙幣の顔になったのは、偉大な教育者、文化人の証しであり、福澤先生はお札のなかから、21世紀の日本をそして中津を見守り続けてくれたように思われてなりません。

福澤先生の残した功績は色あせず、つながれたバトンは、現在、そして未来に続くと確信しています。



編集後記 (ひとりごと) 編集後記 (ひとりごと) 新紙幣の一万円札には渋沢栄一翁、五千円札には津田梅子先生、千円札には北里柴三郎先生が選ばれました。新札が発行されても古い紙幣は今まで通り使えるため、「現在の紙幣が使えなくなる」と偽った詐欺行為には注意しましょう。(まさとし)